



in the School Life

スクールライフ

学校ホームページ <http://www.ijji-e.ed.jp/>

飯地小学校

児童数 36人 学級数 4学級

恵那市飯地町 26 番地 4

TEL 0573-22-3026 FAX 0573-22-0010

感動とほほ笑みのある学校 ～『夢をもち懸命に生きる子』を目指して～

天空の里「飯地高原」の海拔 625m にある本校は、へき地・複式校です。昨年度は 3 学級の完全複式になるなど、市内では最も小さい学校です。

学校の教育目標は、『夢をもち懸命に生きる子』小規模教育のけん引車となるべく、日々の教育活動にまい進しています。

1. 複式授業で児童の意欲が向上

複式学級では、2 学年を担当の先生が 1 人で受け持っています。こうなると気になるのが日々の授業です。複式の授業は、先生が 2 学年を行き来して指導する「わたり」をしたり、先生が必ず一方の学



▲児童の学習リーダーによる学習

年につかなければならない時間帯をずらしたりするなど、工夫をしながら進めています。そして担任の先生が

2. 一輪車の技に磨きをかける

本校では児童それぞれが、一輪車の目標とするランクを目指し、練習を繰り返しながら技を磨いてきました。ところが「ふるさと交流学習」で訪問した串原小学校でのこと、本校の自慢の 1 つだと自負していた一輪車が、串原小学校の演技の前に完全に打ち砕かれてしまったのです。

昨年度、一輪車の講師に、世界大会のチャンピオンという実力者の小山美由紀さんを招きました。小山さんの乗る一輪車は、まるで自分の体の一部のようなものでした。本物を見ることにより、一輪車に対す

る子どもたちの意識が変わったことは、言うまでもありません。その後、児童らは運動会や他校との交流の場で、緊張感を楽しみながらノミスの演技を目指



▲世界チャンピオンの小山さん

し、ますます技に磨きをかけています。

3. お年寄りの方々との交流で喜びを

毎年、地域の老人福祉施設を訪問し、お年寄りの方々と交流する機会を持っています。どの学年も、



▲お年寄りの方々との交流

児童が話し合って決めた手作りのお菓子などを手土産に、学習発表や交流活動をしています。人に喜んでもらえることに、自分自身も喜びを感じ

られる、本校のすべての児童が、そんな生き方ができることを願っています。

4. 『とげとげ言葉』と『にこにこ言葉』

「言葉」「時間」「もの」を大切にする『三つの大切活動』を行っています。これらの活動の 1 つに、「とげとげ言葉」をなくし、「にこにこ言葉」を増やす取り組みがあります。言葉によって悲しい思いをする子どもが 1 人もいない、明るくて温かい感動とほほ笑みのある飯地小になっていくことを願って、活動しています。



▲『にこにこ言葉』の掲示版

次号は 5 月 15 日号

発行日は 5 月 15 日(金)です

広報えな No.104

2009 年(平成 21 年)

5 月 1 日発行

発行 恵那市役所 / 編集 企画課広報広聴係

岐阜県恵那市長島町正家一丁目 1 番地 1 TEL 26-2111 / FAX 25-6150

<http://www.city.ena.lg.jp/> E-mail info@city.ena.lg.jp

『広報えな』5 月 1 日号、1 部当たりの印刷経費は約 11.3 円(税込み)です。



恵那市安心安全メール配信システム

登録用 QR コード

□問い合わせ 防災対策課(内線 317)

『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。



この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい大豆油を使用したインキで印刷されています。